会計様式第１

支　出　伝　票

会派名	代表者	経理責任者	会計年度	整理番号
創犬会	大澤秀教	増田修治	令和５年	10

支　出　項　目	□１調査研究費　□６会　議　費 □２研究研修費　□７資料作成費 ☑３広　報　費✓　□８資料購入費 □４広　聴　費　□９人　件　費 □５要請・陳情活動費　□10事 務 所 費	令和６年３月21日

支　払　金　額	金　額			1	3	2	2	8	6	円

使　途　内　容　創犬会会報　印刷費✓　27,000部.

《領収書添付欄》

領収書

創犬会　様

取引年月日：2024年03月21日(木)

領収書番号：R-240315849338

下記正に領収いたしました。

合計金額 （税込）　**132,286円**

10%対象　132,286円（内消費税: 12,026円）

ラクスル株式会社

〒1410021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル1F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
240315849338-01	チラシ・フライヤー / A3 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準：90kg / 折り加工: 2つ折り(センター折り)	27,000部	120,260円	出荷予定日: 2024年3月21日 創犬会だより３月

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 120,260円
小計（税抜）	120,260円
合計金額（税込）	132,286円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ（必ずご確認ください）

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム（https://raksul.com/contact/）からご連絡ください。

視察研修報告・・・2月14日(水)～15日(木)

14日香川県高松市、15日愛媛県四国中央市

創犬会では2月14日15日と高松市と四国中央市に先進地調査に行ってきました。
高松市はスマートシティ実現に向けた取り組みについて、四国中央市はデマンドタクシー(予約型の乗り合いタクシー)について調査してまいりました。
高松市はデジタル技術を活用し、社会全体のＤＸ化を進め、防災分野や観光分野など多岐に渡りデータを活用しており、市民が安心安全で、職員の仕事が少しでも楽に出来る仕組みを取り入れてます。
四国中央市では市内を4つのエリアに区分し、協議会を設置し事前予約を必須としたデマンドタクシーを運行しています。予約センターではオペレーター4人を配置していました。早朝は学生が、午前中は高齢者の通院の足として、路線バスの廃止見直しに合わせて公共交通として市民の生活を支えています。
2月議会では畑議員が庁内業務のＤＸ化の質問を、玉置議員が値上がりする郵送料の経費をデジタル化することにより削減できないかなど視察研修内容を活かした提言を行いました。

創犬会メンバーは、日々政策研究に務めております。

R5. 9/28小牧市
こまきこども未来館視察・研究

R6. 2/20楽田ふれあいセンター
犬山の果樹について打合せ

会派での打合せ

定例議会一般質問から

～犬山の学校給食について(12月定例議会)～

Q 犬山の学校給食は教育施策の大きな柱の１つです。栄養士（栄養教諭・学校栄養職員）が献立を作成して、学校の給食室で調理をしています。食育の生きた教材として、おいしく楽しい給食を提供しています。また、各校の栄養士を中心にきめ細かいアレルギー対応を行っています。
しかし、学校給食を維持していくためには施設の老朽化や栄養士の配置などの課題があります。

A 給食施設の老朽化が進んでいるため、令和6年度には給食室を調査して整備計画を策定します。
県費負担の栄養教諭の配置がない学校には、市採用の栄養職員を配置しています。今後、児童・生徒数が減少するため、県費負担の栄養教諭の配置が減少します。このような状況を想定して選択肢の１つとして、小規模校の給食を最寄りの学校で調理しては運ぶ「親子方式」を考えています。

柴田 浩行

犬山市議会
創犬会だより

発行責任:犬山市議会会派「創犬会」
構成議員:増田修治　光清　毅
小川清美　畑　竜介
玉置幸哉　柴田浩行
大沢秀教
発行年月:令和6年3月

三河屋犬山店の前にて

『創犬会』の活動報告

昨年4月の選挙より、早いもので1年が経ちました。我々創犬会では、毎週金曜日16時から街頭活動を行っており、合計約40回(3カ所)行っております。街頭活動は、主に五郎丸の三河屋犬山店前、出来町のスギ薬局前、楽田若宮交差点、羽黒名古屋銀行前などにて行っており、今後は城東地区でも行っていきます。多くの皆様に情報をお届け出来る様、今後も活動してまいります。

写真左より
増田修治（ますだしゅうじ）
畑　竜介（はたりゅうすけ）
小川清美（おがわきよみ）
柴田浩行（しばたひろゆき）
大沢秀教（おおさわひでのり）
光清　毅（みつきよつよし）
玉置幸哉（たまおきゆきや）

創犬会メンバーは様々な問題提起・政策提案を積極的に行ってまいります。

様々な角度から、犬山市が住みやすいまちとなるよう日々研究し、提言しております。令和５年度に提言してきた内容を一部抜粋します。

まちづくりについて
成田富士入鹿線の進捗、新橋爪五郎丸子ども未来園周辺の安全、移転後未来園の跡地活用・整備、公園の維持管理、善師野駅を活用した地域づくり、山の田公園パークＰＦＩ導入推進、県道大縣神社線の改良、狭あい道路対策、公共下水道事業計画区域見直し、五郎丸駅復活に向けての布石、街路樹の維持管理、商業集積ライン進捗、都市美化センターの地元補償事業、蝉屋長塚線の推進、

子育て・健康福祉について
保育士の働き方対策、子ども・子育て支援の強化、始業前児童クラブ、犬山の保育課題、楽田地区子ども未来園の更新方針、新しい犬山南小学校、子どもの体力向上とスポーツの振興、運動による介護予防、総合犬山中央病院の建替え進捗、コロナワクチン接種進捗・特定健診受診率向上

歴史・文化・スポーツ振興について
文化財建造物の地震対策、大谷翔平選手寄贈のグローブの活用、文化振興の拠点としての市民文化会館の運営、芸術文化を通じた地域振興、創造都市ネットワーク日本加盟推進、歴史文化を活かしたまちづくり、石上げ祭の普及推進、小牧長久手の戦いの観光活用、歴史的建築物の保存・継承

住まい・生活について
コミュニティバスの利便性向上・利用推進、可燃ごみの収集課題、住他の耐震化推進、屋根軽量化助成事業推進、地球温暖化対策の取組推進、空き家対策、デジタル町内会推進、古い消火栓問題、老朽化する水道管の課題、今後の水道料金の課題、公共施設利用における市民優先の取組推進、町内会との連携推進、投票率向上・移動支援推進、災害時の通信確保推進、災害弔慰金条例の改正要望、防災・減災及び災害対応、行政のＤＸ化推進、庁舎内の業務改善

産業・地域振興について
ふるさと納税工夫提案、移住定住促進PR推進、災害対策、工事成績評点運用、木曽川うかい観光推進、犬山城下町ＮＦＴへの取組推進、持続可能な観光まちづくり推進、犬山城入場券推進、市役所公共駐車場活用推進、楽田地区の企業立地推進

定例議会一般質問から

～屋内型キッズスペースについて～

大沢　秀教

Q (平成30年9月議会)屋内児童遊戯施設を交通アクセスのよい場所に他の子育て支援機能を一体に複合施設として整備してはどうか。

A 魅力的な提案ですが、用地、費用等、課題は多く、検討していきます。

Q (令和5年9月議会)キッズパークは道の駅基本計画に位置付けられているが、道の駅事業が棚上げになっている。事業費を抑えて、なるべく早くキッズスペースを実現するために、ヨシヅヤで設置してはどうか。

A ヨシヅヤに協力を得られるか慎重に確認します。道の駅を始めとする今後のまちづくりに大きく影響するため、それらを踏まえて判断します。

Q (令和6年2月議会)屋内型キッズスペースをヨシヅヤ2階に設置すると施政方針で示されたが、市長の大きな政治判断についての思いは？

A 敷地面積1500㎡や駐車場が確保でき、駅にも近いことから決断しました。子育て世代が少ないという市の背景に向き合います。天候に左右されず子どもが遊べる大切な場で、開設は令和8年早期を予定しています。

～まちの灯かりについて（１12月定例議会）～

増田　修治

Q 数多くの街路灯を管理していることは承知しておりますが、まだまだ暗いと言われる道も多い中、どのような対策をしているのか。

A 街路灯の新設要望に対応する為、設置予算を確保しており、令和５年度は、設置要望が提出された全てに街路灯を設置しました。ですが、全ての要望に応えられている訳ではなく、道路が狭かったり、電気を引き込むことが困難などで設置出来ないケースもあります。

Q 暗がりを減らす為に、夜間に各家庭の門灯や玄関灯など常夜灯による灯かりを用いて、住宅街の暗がりをなくそうという一戸一灯運動がある。当市も広報やSNSなど用いて普及啓発してはどうか。

A 一戸一灯運動は、地域全体を明るくし、防犯効果としても有効です。今後、広報やSNSなどを活用し、犬山警察署とも連携を取りながら、普及啓発に努めてまいります。
※2月よりホームページの掲載やLINE等にて普及啓発を進めております。

～市から出す郵便物の費用について（2月定例議会）～

玉置　幸哉

Q 庁内での郵便物の枚数と費用はどうなっているか。今年秋には値上がりの報道があり影響は大きいと考える。枚数や費用について問う。

A 郵便の取扱いは各部署で行っており全体の発送数などは把握をできていないので郵便料金の過去3年をお示しします。令和2年度4,900万円、令和3年度6,400万円、令和4年度が8,300万円となっています。
多い年度は各種選挙や後期高齢者医療制度における保険証の更新などの要因があり、令和4年度総務課だけの数字では発送数34万通2,400万円となります。

Q 郵送料金を減らすため、委員会などの案内や市民向けのアンケートの返信などデジタル化できないか。

A ご指摘の点は一部でデジタル化していますが紙の方が良いと言われる方もおり併用しています。また、アンケートの回答もすでにネットでできる形でも実施しています。「1円でも無駄を無くす」との市長指示も出ており市民にとって有効なデジタル化の活用を進めます。

～スポーツ施設の設備充実化について（12月定例議会）～

畑　竜介

Q 武道館・体育センターなどについて、夏場の猛暑時など市内の屋内スポーツ施設は、利用における注意喚起の基準などは設けているか。

A 温度・湿度・熱中症注意指数が表示される熱中症指数計を掲示して、利用者に注意を促していますが、熱中症の注意喚起をする市独自の基準はなく、利用制限は行っていません。

Q 来年の夏も、猛暑になることが 想定されますが市民が少しでも快適にスポーツができるよう、空調設置等環境の改善に取り組めないか。

A 令和6年度に向けスポットクーラーの設置など、現状において可能な対策を速やかに実施してまいりたいと考えており、市民の皆様が、安心、安全、快適に施設を利用いただけるよう、施設環境の整備に努めてまいります。

～1年間の一般質問から～

光清　毅

Q 災害が発生し水道が断水した際に、生活用水として使うように災害時協力井戸の登録を進めたらどうか。

A 断水時の既存の井戸の活用は有効ですので、災害時協力井戸の登録制度を今年度中に進めます。
＊現在、災害時協力井戸の登録中です。

Q 今後、楽田地区の子ども未来園が建替えが予定されている。その際には、施設を一般の避難所に指定できないか。

A 施設の位置や規模などの概要が判明してから、その状況を踏まえて、検討していきます。

Q コミュニティバスの利用者の利便性を図るため、バス停を商業施設や病院の敷地内に設置して、乗り入れができないか。

A 商業施設等への乗り入れについては、メリット・デメリットがありますので、利用者の意見を聞き研究していきます。

～ 防災・減災に向けて （9月定例議会）～

小川　清美

Q 感震ブレーカーの普及率が低いため、上限額(現状5,000円)を引き上げることと、非木造住宅まで補助を拡充すべきと考えますが見解は。

A 出前講座等で一層の普及啓発に努めてまいります。また、非木造住宅への補助対象拡充や補助上限額の引上げについて検討していきます。
※令和6年度から木造以外の住宅が対象となり、上限が10,000円となります。

Q 災害発生時の情報伝達手段については、2019年の一般質問にてＦＭラジオを活用した同報系無線を提案させて戴きましたが、改めてその後の状況や市の考え方を問う。

A 調査研究を進めてきましたが、防災ラジオの性能があがっているため、現在コミュニティFMの電波を活用した防災ラジオの導入の検討に着手、6年度実施に向けて進めます。
※令和6年度から放送設備工事や一部の世帯から戸別受信機の導入が始まります。

(イメージ写真)